

2019年11月12日  
イオンディライト株式会社

施設管理の専門家集団へ「第1回イオンディライト技術コンテスト」第2弾  
**「第1回 技術・安全向上コンテスト」を開催**  
 全国8支社から選抜された代表チームが集い、「災害発生に伴う復旧対応」を競技

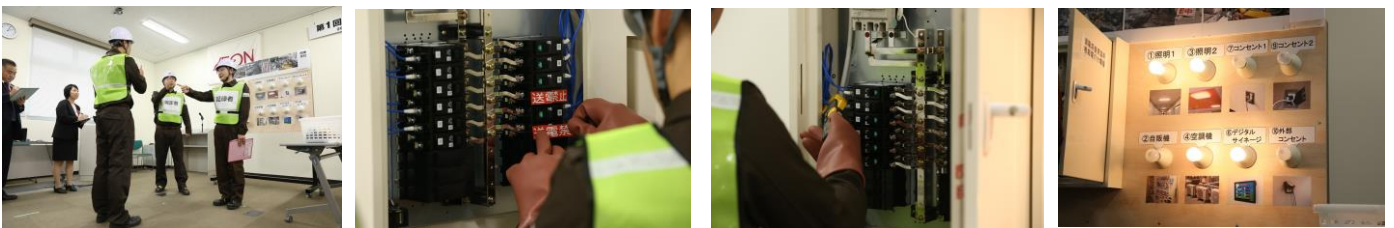


イオンディライト株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長兼社長執行役員 グループ CEO：濱田和成、以下「当社」）は、2019年11月11日に研究・研修施設「イオンディライトアカデミーながはま（滋賀県長浜市）」にて「第1回 技術・安全向上コンテスト」（以下、「本発表会」）を開催しました。

本発表会は、「第1回イオンディライト技術コンテスト」として、2019年11月から12月にかけて実施する事業別（設備管理、警備、清掃）技術コンテストの第2弾（※）として執り行うものです。

本発表会には、全国8支社より、各支社内で選抜された設備管理員によって構成される代表チームが参加し、「災害発生に伴う復旧対応」をテーマに競技を実施しました。各チームは、責任者、記録者、測定者の3人1組となり、テスト用分電盤を使用し、昨年の平成30年7月豪雨や今年の台風15号、19号により実際に発生した水害に伴う施設の冠水と停電をモデルに、いかに迅速かつ正確に不良回路を特定し復電できるのか、を競い合いました。審査にあたっては、電気主任技術者としての知識と技術を生かした正確性やスピードはもとより、作業前安全ミーティングを含めた作業員自身の安全を守るための、コミュニケーションを通じたチームワークの良否も問われました。審査の結果、作業前から作業中、作業後に至るまで、一体感のあるコミュニケーションにより互いにフォローし合い、責任者の指揮のもと、スピード感のある流れるような作業で復電を実現させたことが評価され、東海支社代表が優勝しました。※第1弾につきましては、2019年11月11日付『「第5回 働きやすさ追求活動 取組み発表会」を開催』をご参照ください。

**【競技の様相】**



写真の説明

左から一番目：作業前ミーティングで健康チェック、服装点検など作業員の安全とともに作業の段取りを確認  
 左から二番目：特定した不良回路に「送電禁止シール」を貼付  
 左から三番目、四番目：復電作業から復電完了

本発表会を終え、当社社長の濱田は、次のように総括しました。

「全チーム甲乙つけがたく、高い専門性を発揮し、マニュアルに沿ってスムーズに作業に結び付けていた。とりわけ、危険注意や危険予知、チーム全員で納得感を持って作業を進める、ということは全チームができていた。一方で、チームによっては作業面で一部手間取る場面も見受けられた。それらを適正に評価、反省し、常に『お客さま視点』を持って、日々の業務に生かしてほしい。

引き続き、お客さまの施設に『安全・安心』をお届けするという使命を果たしていくためにも、当社は『技術力』と『人間力』を兼ね備えた専門家集団を目指していく。イオンディライトピープルー一人ひとりが自己研鑽に励み、またそれを促進する仕組みとして、今後も技術コンテストを継続し、大会そのものを進化させていきたい」。



● 優勝した東海支社代表チーム。  
写真左から、藤川 尚弥さん、濱田社長、石黒 雄臈さん、柴田 和洋さん

当社は、更なる持続的成長に向けて、2018年10月にイオンディライトビジョン2025を掲げ、アジアにおいて、「安全・安心」、「人手不足」、「環境」の3つを成長戦略の柱に社会課題を解決する環境価値創造企業を目指していくことを決めました。これを実現していくため、当社は、事業を展開する各エリアで、当社グループ各社や協力会社、アライアンス先とともに強固なサービスネットワークを築き、お客さまへ高品質なサービスを効率的に提供していく地域経済圏の形成を進めています。

こうした中、「人間力」と「技術力」を兼ね備えた専門家人材を育成し、期待を上回るサービスの提供を通じて、お客さま満足度をより一層高めることを目的に「第1回イオンディライト技術コンテスト」を開催しました。

近年、自然災害が多発化する中、企業においては、被災時の事業継続性が問われています。こうした中、当社は創業時より施設とその周辺環境に「安全・安心」を提供することを使命としてきたファシリティマネジメント企業として、有事の際、迅速かつ正確な対応を実施することが重要だと考え、設備管理事業においては「災害発生に伴う復旧対応」をテーマに技術・安全コンテストを開催しました。

こうした取り組みを通じて、引き続き、設備管理における専門性を高め、お客さまのBCP対策の強化を含め、施設とその周辺環境の「安全・安心」に貢献してまいります。

— 本リリースに関するお問い合わせ先 —

イオンディライト株式会社 ディライトコミュニケーション部  
TEL：03-6840-5712 FAX：03-3524-8902